

氏名	松 村 直 樹
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3522 号
学位授与の日付	平成 12 年 12 月 31 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Study on Free Radicals and Pancreatic Fibrosis- Pancreatic Fibrosis induced by Repeated Injections of Superoxide Dismutase inhibitor (フリーラジカルと膵線維化に関する検討ースーパーオキシ ドディスムターゼ阻害剤反復投与によって誘導された膵線 維化)
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 辻 孝夫 教授 二宮 善文

学位論文内容の要旨

膵線維化の進展の正確なメカニズムはいまだ知られていない。膵線維化とフリーラジカルとの関連性を明らかにするために、ラットの膵線維化におけるスーパーオキシドディスムターゼ (SOD) 阻害剤、ジエチルジチオカーバメイト (DDC) の投与効果を検討した。DDC 500mg/kg の腹腔内単回投与により炎症や壊死といった組織学的変化はなく、膵内の SOD 活性値は顕著に低下し過酸化脂質は顕著に上昇した。DDC 500mg/kg を週 2 回反復投与した結果、少なくとも 2 週間で膵腺房細胞の萎縮を伴う小葉間、小葉内の線維化を認め、肝、腎には線維化を認めなかった。アロプリノールと DDC を同時に投与することによって膵線維化は認めなかった。今回我々は DDC を反復投与することによりラットに膵線維化を来すことを明らかにした。このモデルは酸化ストレスの見地からみた新しい膵線維化モデルと考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は、ジエチルジチオカーバイメイト (DDC) 500 mg/kg を週 2 回、2 週間反復投与した結果、膵腺房細胞の萎縮を伴う小葉間、小葉内の線維化を認めたものである。DDC はスーパーオキシドディスムターゼの阻害剤であることから、膵線維化機構のひとつにフリーラジカルの関与があることが示された。この研究は膵線維化の新しいモデルを開発したものであり、線維化機構のひとつにフリーラジカルが関与したことを示唆するものとして価値ある業績であると認め、博士 (医学) の学位を得る資格があるものとした。